

デジタル時代に必要な文書情報マネージメントの考え方とツール適用方法について

～ 多様化したデータ保存先による混乱からAlfrescoを使った解決方法～

2021年6月22日(火) 15:00 ~ 16:00
リックソフト株式会社

自己紹介



リックソフト株式会社
ソリューション3部
ゼネラルマネージャー
大塚 和彦

- 2006年頃からOSSコンソーシアム、LBI (Linux Business Initiative)の理事として参加。
- 前職にてオープンソースのLinux-HA (Heartbeat, Corosync, Pacemaker, DRBDなど)、ECM (Alfresco)、ITSM (OTRS)、BI (JasperSoft、Pentaho)、メールシステム全般などのマーケティング、営業を9年間担当。
リックソフトのAlfrescoパートナー契約締結を機会に入社。
- 2018年から日本文書情報マネジメント協会 (JIIMA) のECM部会に加入、現在、DXコンセプト立案委員会の理事として、先進的なコンテンツ管理ツールについて調査をしている。
- リックソフト株式会社では、新規事業の立ち上げをミッションとするソリューション3部の責任者を務めている。

これまでのコンテンツ管理／情報管理の限界
次に何をすべきか

「働き方改革」や「デジタルトランスフォーメーション (DX)」で

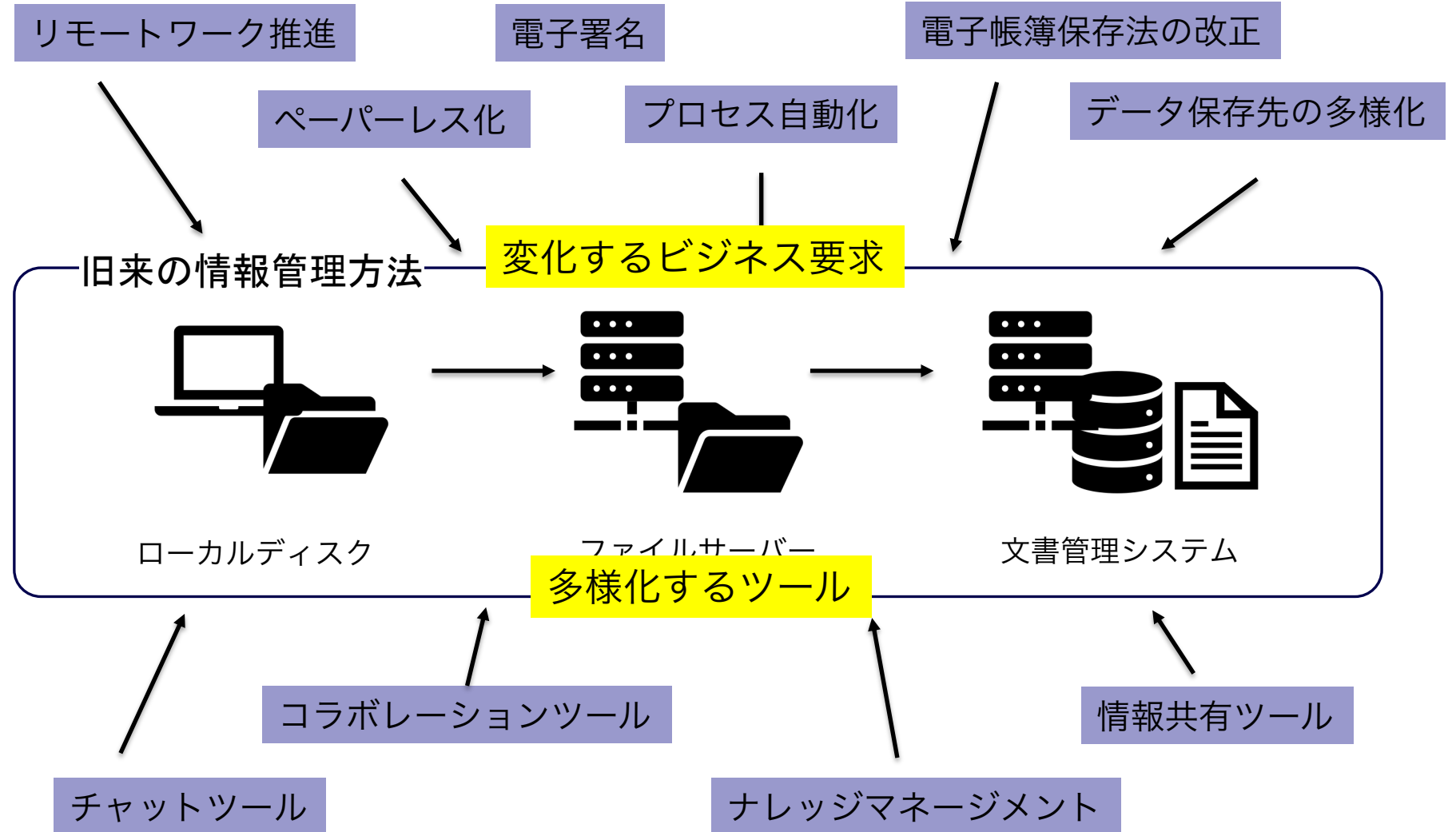
いま起きている
変化

ツギハギで対応した結果

ECMが消えた理由

これからのコンテンツ管理の概念

いまの課題を根本解決する



ツギハギで対応してきたことで日本の文書 / コンテンツ管理は混沌（カオス）に

いま起きている
変化

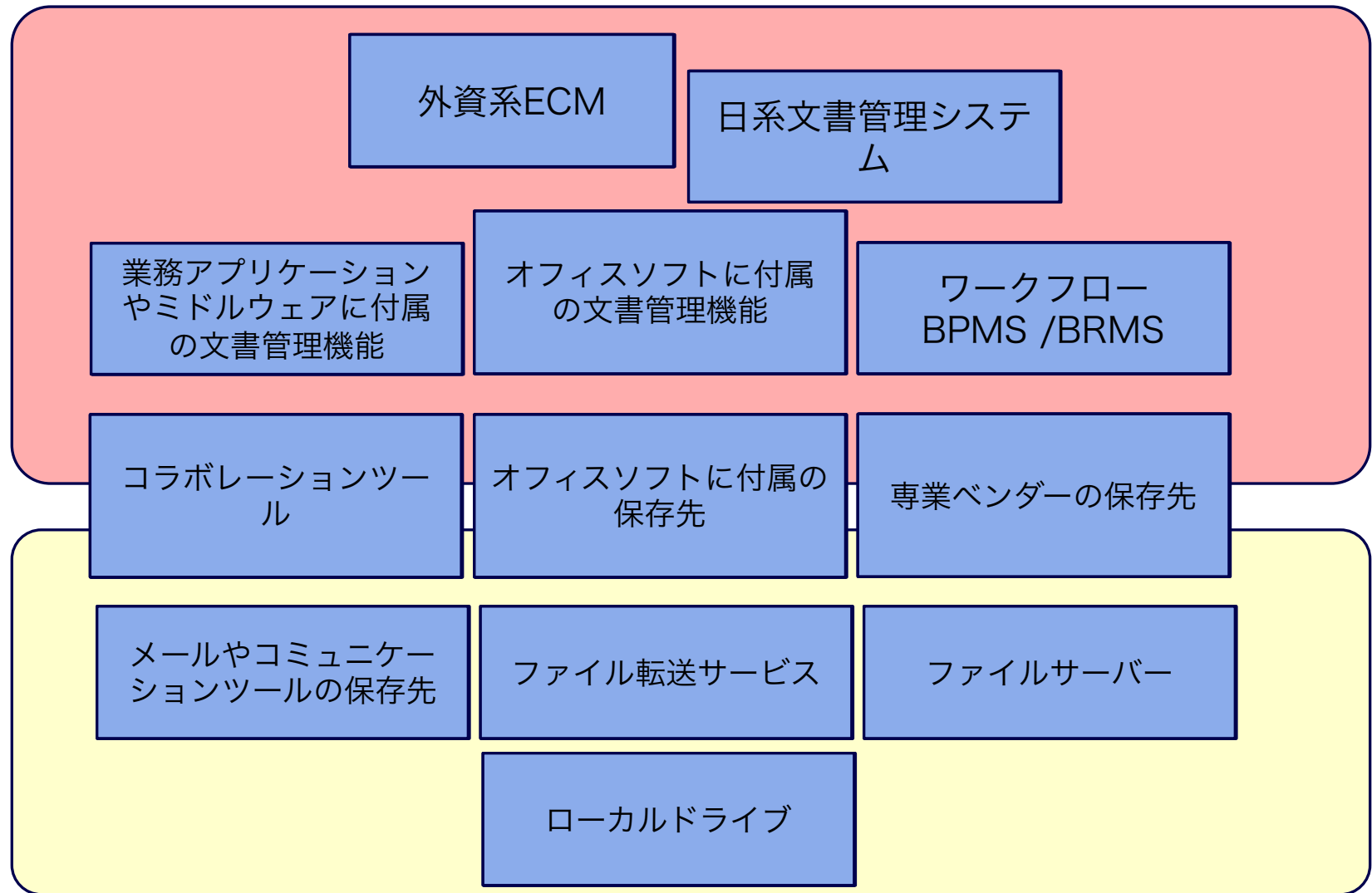
ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する

文書管理 / コンテンツ管理系
コラボレーション系



保存先の多様化、保存先同士は連携や統合していない場合が多い

ツギハギで対応してきたことで日本の文書 / コンテンツ管理は混沌 (カオス) に

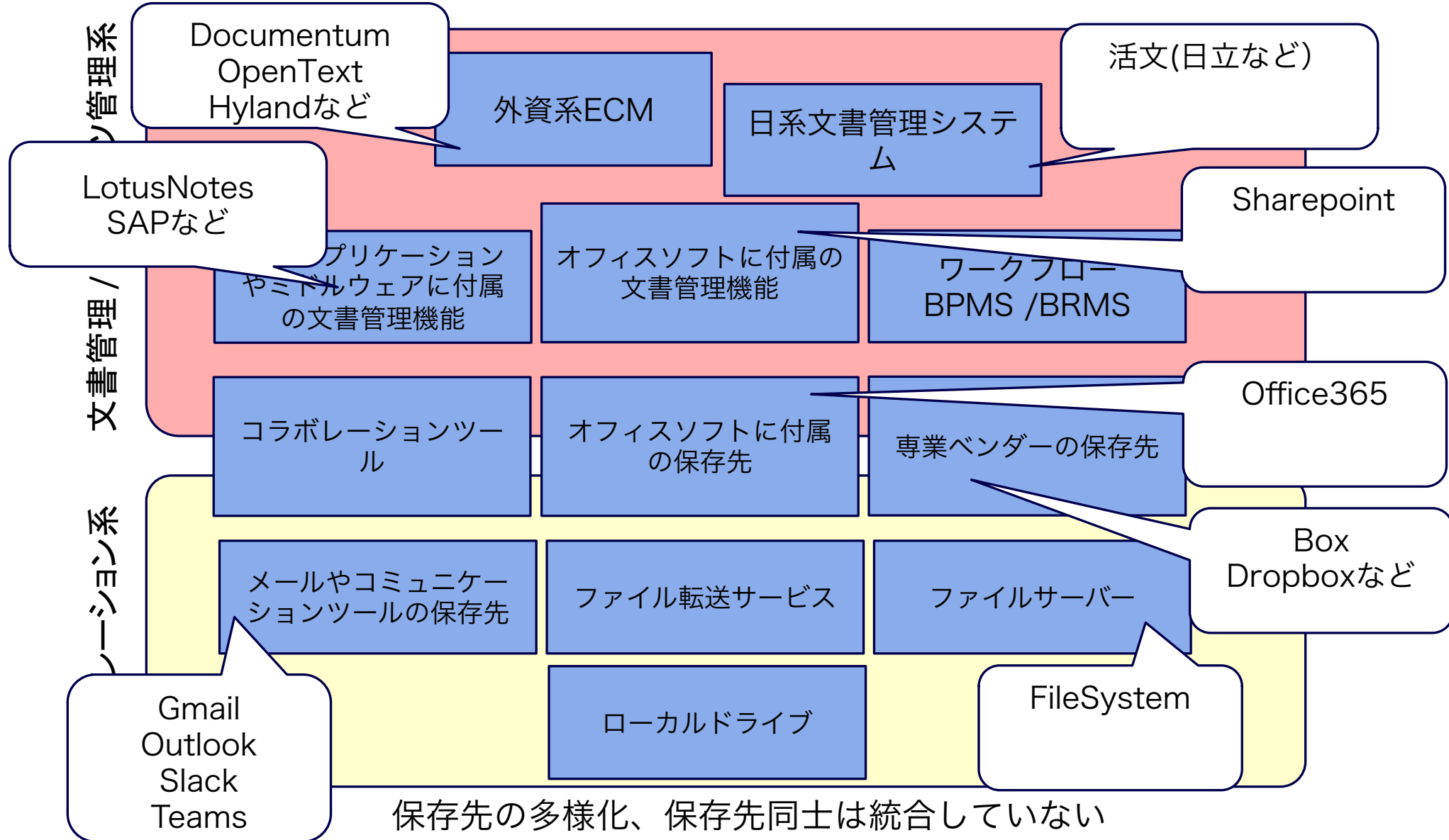
いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する



ECMが消えた理由

2017年にガートナー社より「ECMは終焉を迎えた」と発表がありました。

The screenshot shows the Gartner website header with navigation links for Search, Help, and Login. Below the header is a menu bar with a 'Menu' dropdown. The main content area features the title 'The Death of ECM and Birth of Content Services' by Michael Woodbridge, dated January 05, 2017, with 14 comments. Social media sharing icons for Twitter, LinkedIn, Facebook, and Email are visible. A search bar for blog posts is also present.

情報元：ガートナー社

<https://blogs.gartner.com/michael-woodbridge/the-death-of-ecm-and-birth-of-content-services/>

終焉した理由は、ECMの達成目標であった

1. 法令順守とリスク管理
2. ビジネス知識の保持と普及
3. コストとプロセスの効率
4. イノベーションと新しい働き方

コンテンツ管理
の
現状や課題は
大きく変化

単一の保存先をベースとする集中型のコンテンツ管理では目標は達成できなくなったという理由です。

いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する

これからのコンテンツ管理の概念（全体）

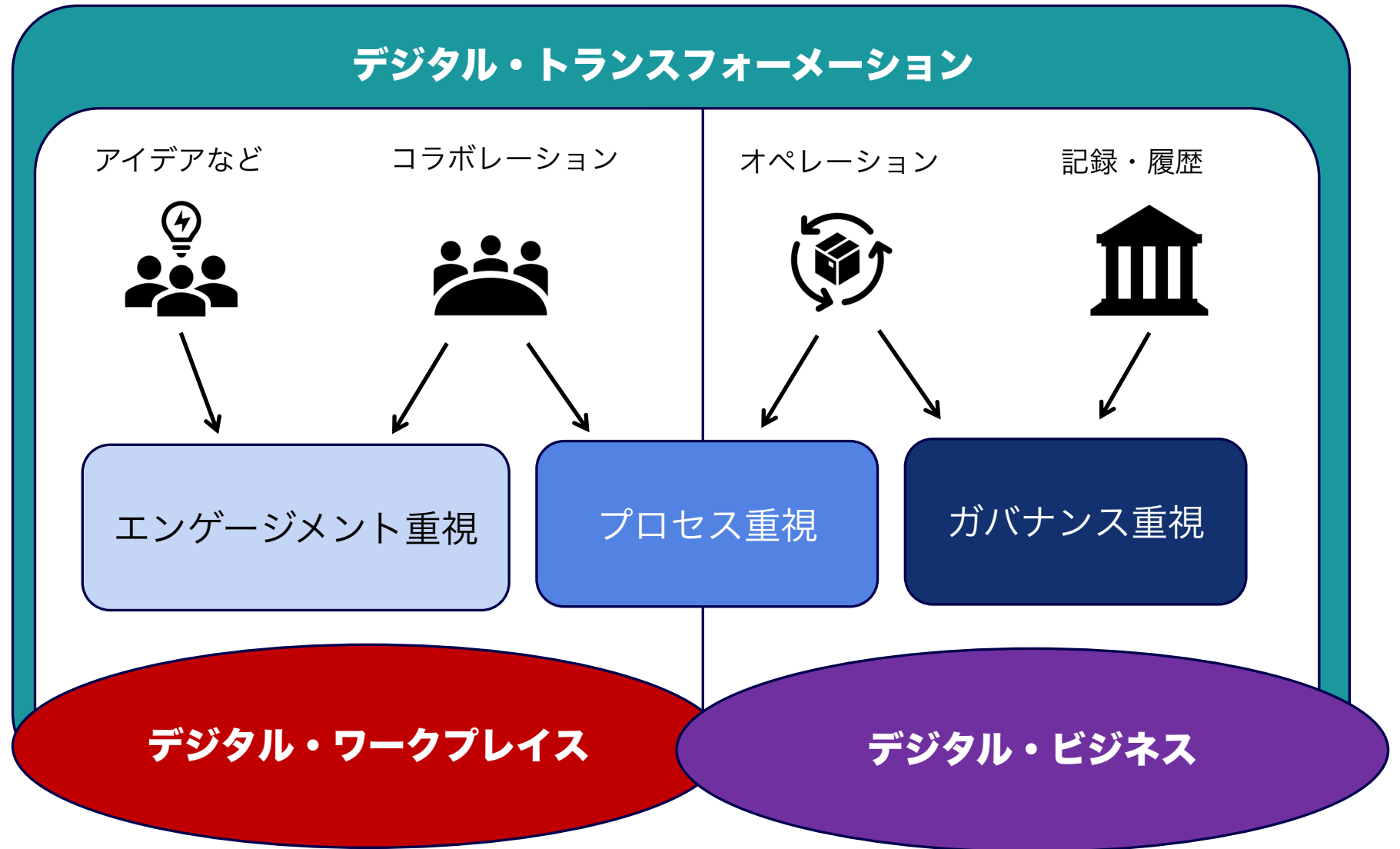
いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する



デジタル・トランスフォーメーション

アイデアなど

コラボレーション

オペレーション

記録・履歴



エンゲージメント重視

プロセス重視

ガバナンス重視

デジタル・ワークプレイス

デジタル・ビジネス

これからのコンテンツ管理の概念（プロセス部分）

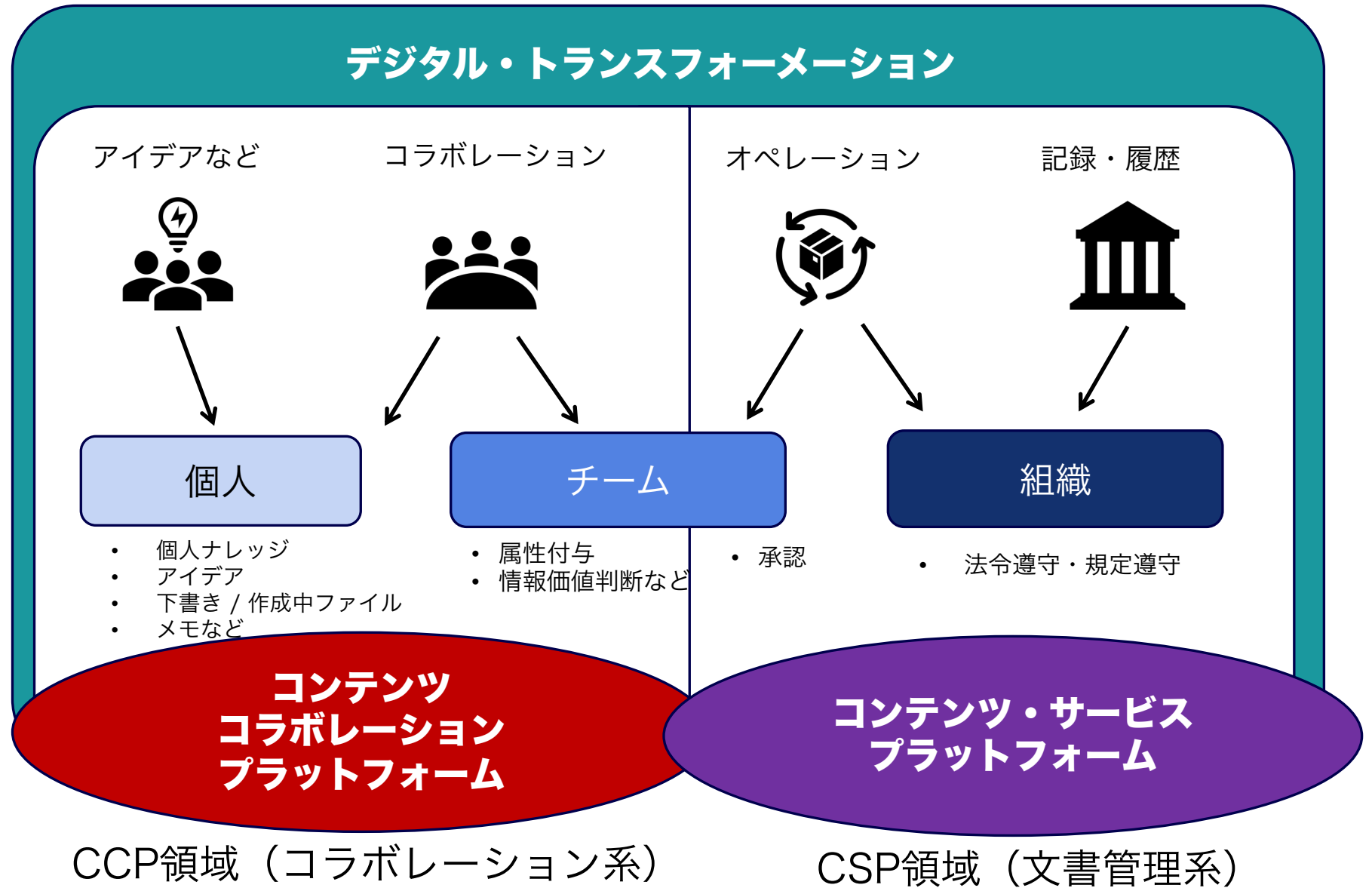
いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する



これからのコンテンツ管理の概念（保存先、リポジトリ部分）

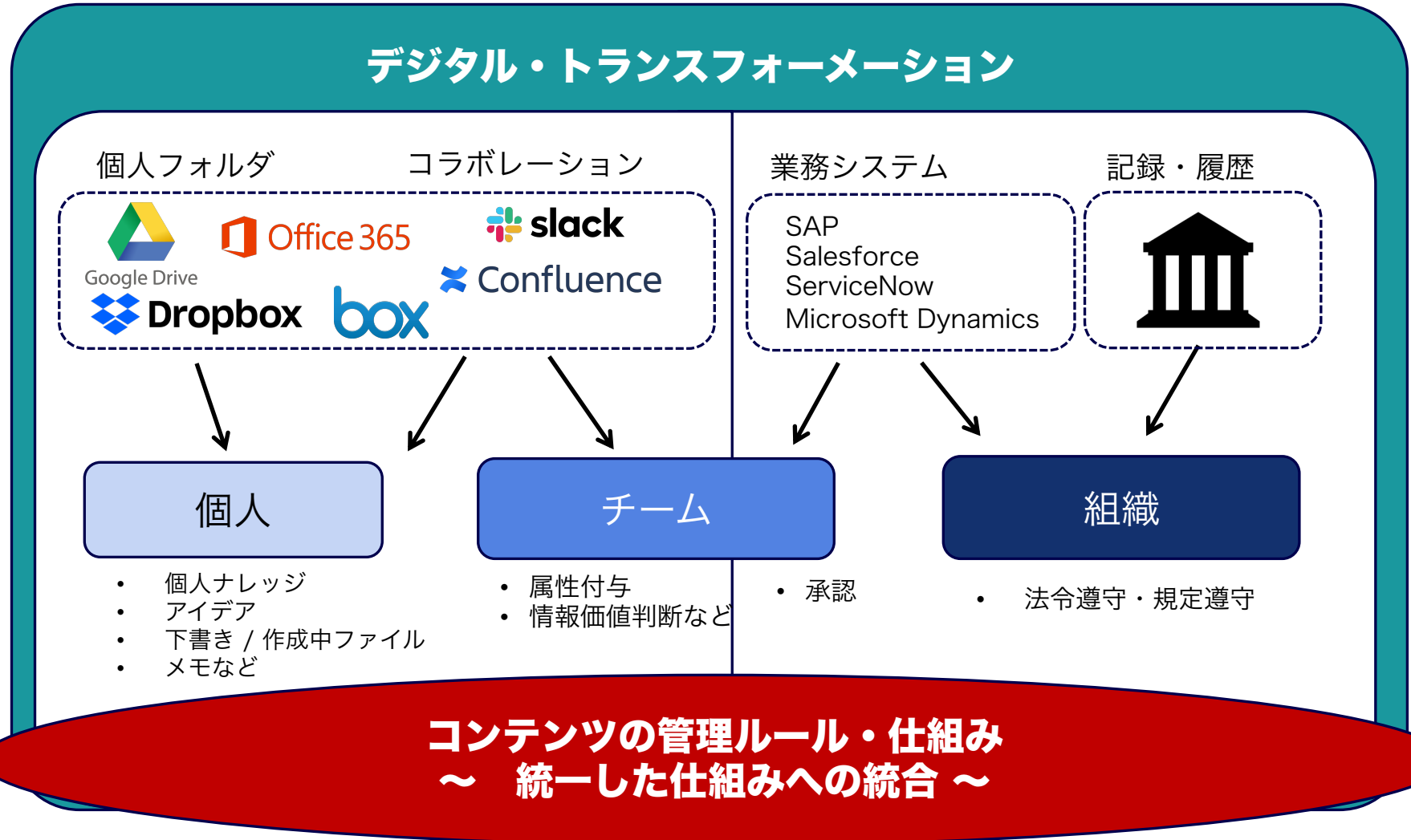
いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する



いまの課題を根本解決する・・・概念を具現化するための方法論を提供

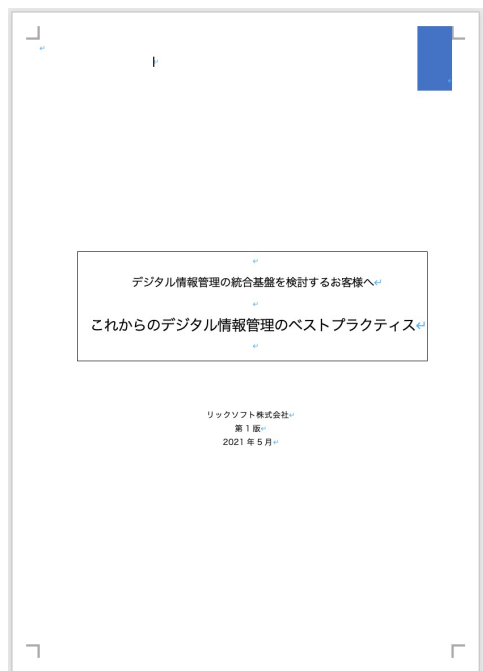
いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する



デジタル情報管理のベストプラクティス

CCP領域

CSP領域

	個人	チーム	組織
①ICTツール名	①ICTツール名	①ICTツール名	①ICTツール名
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
③管理単位同士の連携	ICTツール名もしくは手法を記載		
③管理単位同士の連携		ICTツール名もしくは手法を記載	
④通知・お知らせ	ICTツール名もしくは手法を記載		

いまの課題を根本解決する

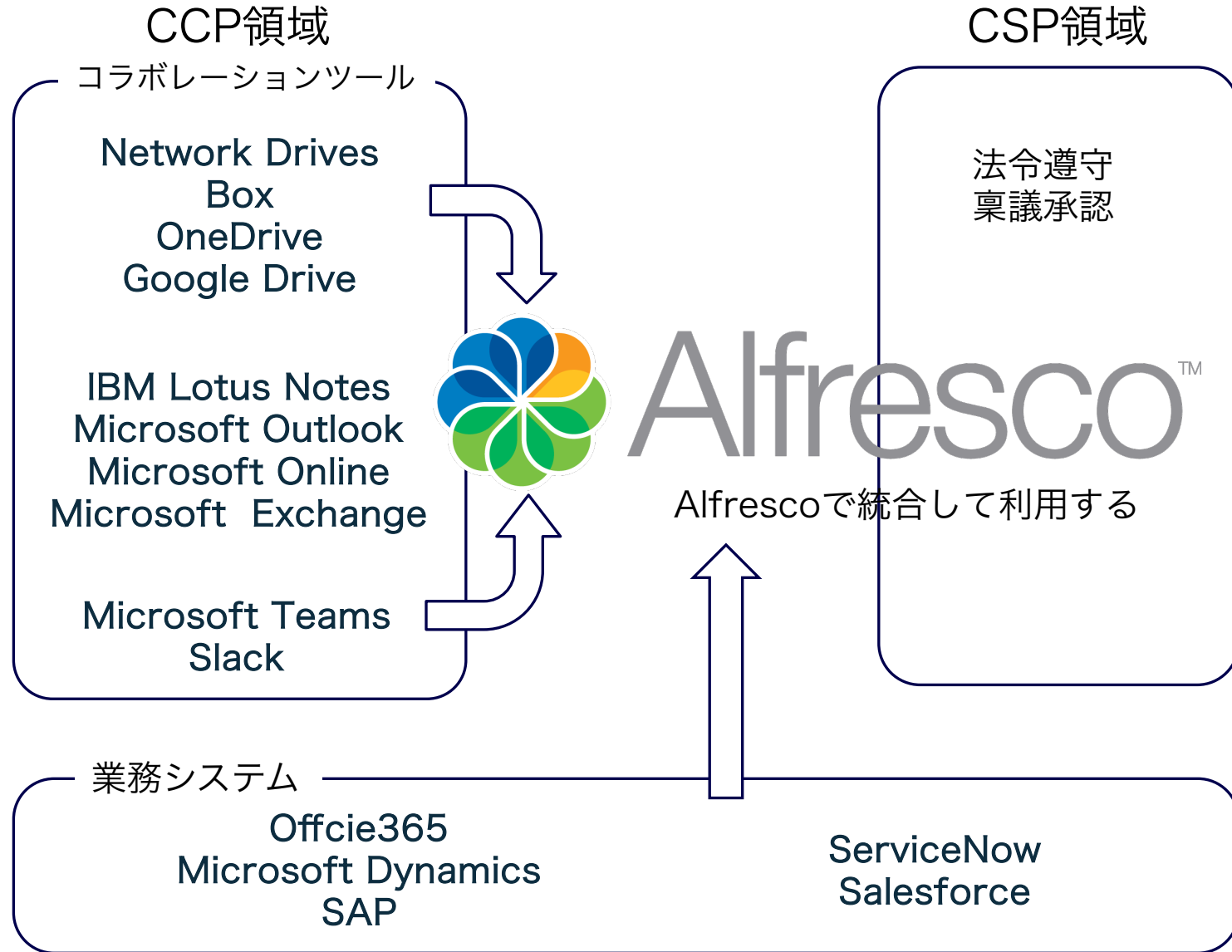
いま起きている
変化

ツギハギで対応し
た結果

ECMが消えた理由

これからのコンテ
ンツ管理の概念

いまの課題を根本
解決する



日本のコンテンツ管理の課題を解決する方法
～ **Alfresco**の活用方法 ～

Alfrescoが求められる理由・・・先進的なプラットフォーム

Alfrescoが求められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション

図は投影のみ

CSP市場では、「CHALLENGERS」から一気に「LEADERS」へランクアップした。

業界では第3位のポジションとなっている。

注目ポイント

- ①：複数の保存先（複数リポジトリ）に対応しているのはAlfrescoだけである。
- ②レガシーなECMは、徐々にリーダーから外れはじめていく。
- ③単一なりポジトリを推進しているツールは伸び悩んでいる。
- ④やっぱり強いOffice365

Alfrescoが求められる理由 導入実績

ユーザー数
28 million+

企業数
1300+

更新率
90%

Alfrescoが求められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション

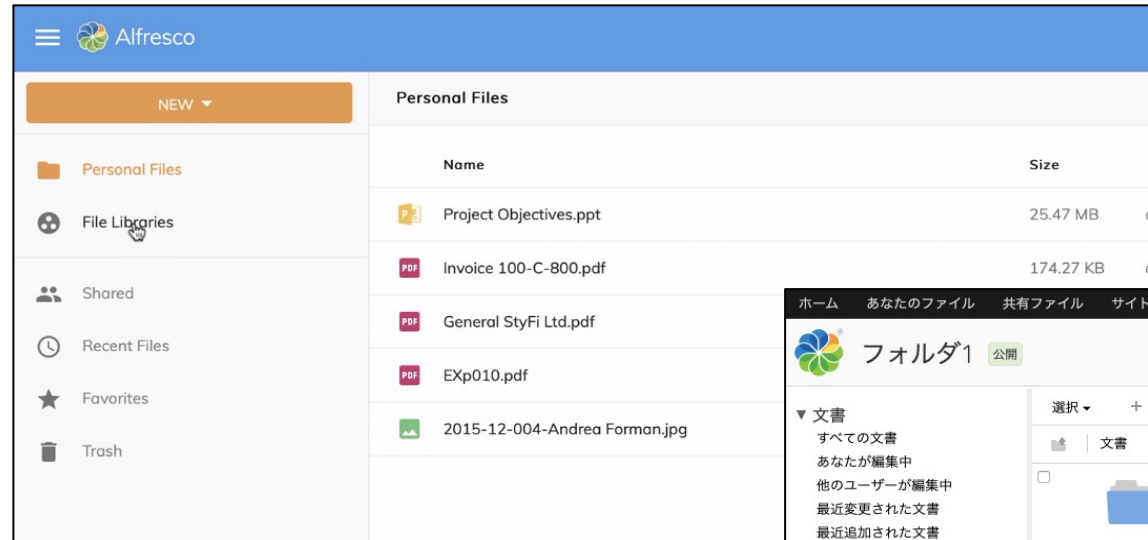
グローバル顧客ロゴは投影のみ

▼Hyland社が公開しているAlfresco事例はこちら
<https://www.alfresco.com/customers>

シンプルでわかりやすいインターフェース

- シンプルで簡単なファイル操作 : Alfresco Digital Workspace
- Alfrescoのフル機能を利用できる : Alfresco Share

Alfresco Digital Workspace



Alfresco Share



Alfrescoが求
められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報
を発見する

多種多様な保存先
に対応

自動化

インテグレーション

プロセスを見える化するダッシュボード

Alfresco Shareでは、チームが利用する「サイト」と「個人」のダッシュボードがあり、それぞれのコンテンツのアクティビティを確認できます。

Alfrescoが求められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション

個人のダッシュボード

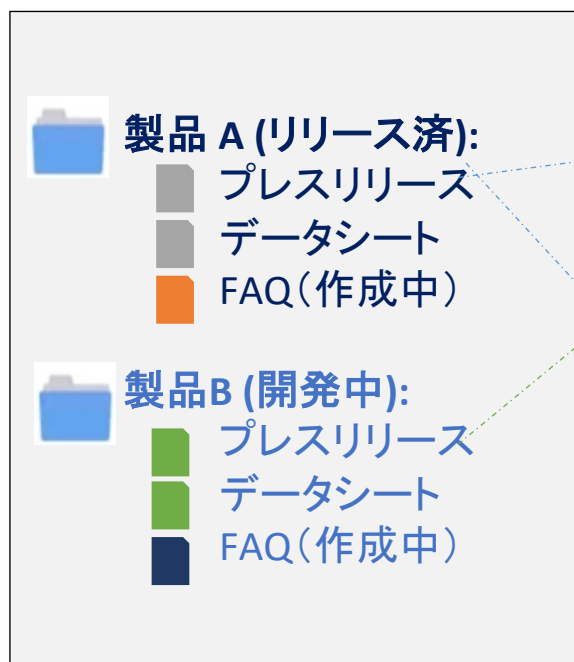
サイト（チーム）のダッシュボード

プロセスごとの視点で情報にアクセス

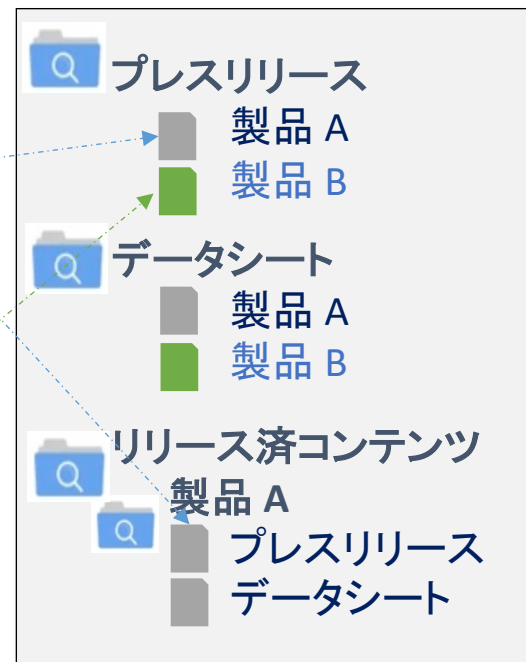
Alfresco Content Serviceには、様々な視点でコンテンツにアクセスできる「スマートフォルダ」機能があります。

- メタデータとタグを使ってデータをグループ化
 - 検索クエリの結果、合致するコンテンツがフォルダに入っている、論理的なビューを提供
 - フォルダの構造に依らない、必要に応じたグルーピング構造を、ビジネスニーズに応じて提供
- メタデータの継承
 - ドキュメントをスマートフォルダに追加すると、メタデータを継承。より簡単に分類

実際のファイル構造



スマートフォルダ



属性 (メタデータ)
ラベル・タグ
などで仮想フォルダ化

Alfrescoが求
められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報
を発見する

多種多様な保存先
に対応

自動化

インテグレーション

AlfrescoをフロントUIで利用し、バックグラウンドでは60種類を超える保存先（リポジトリ）が統合できる



Alfrescoが求められる理由

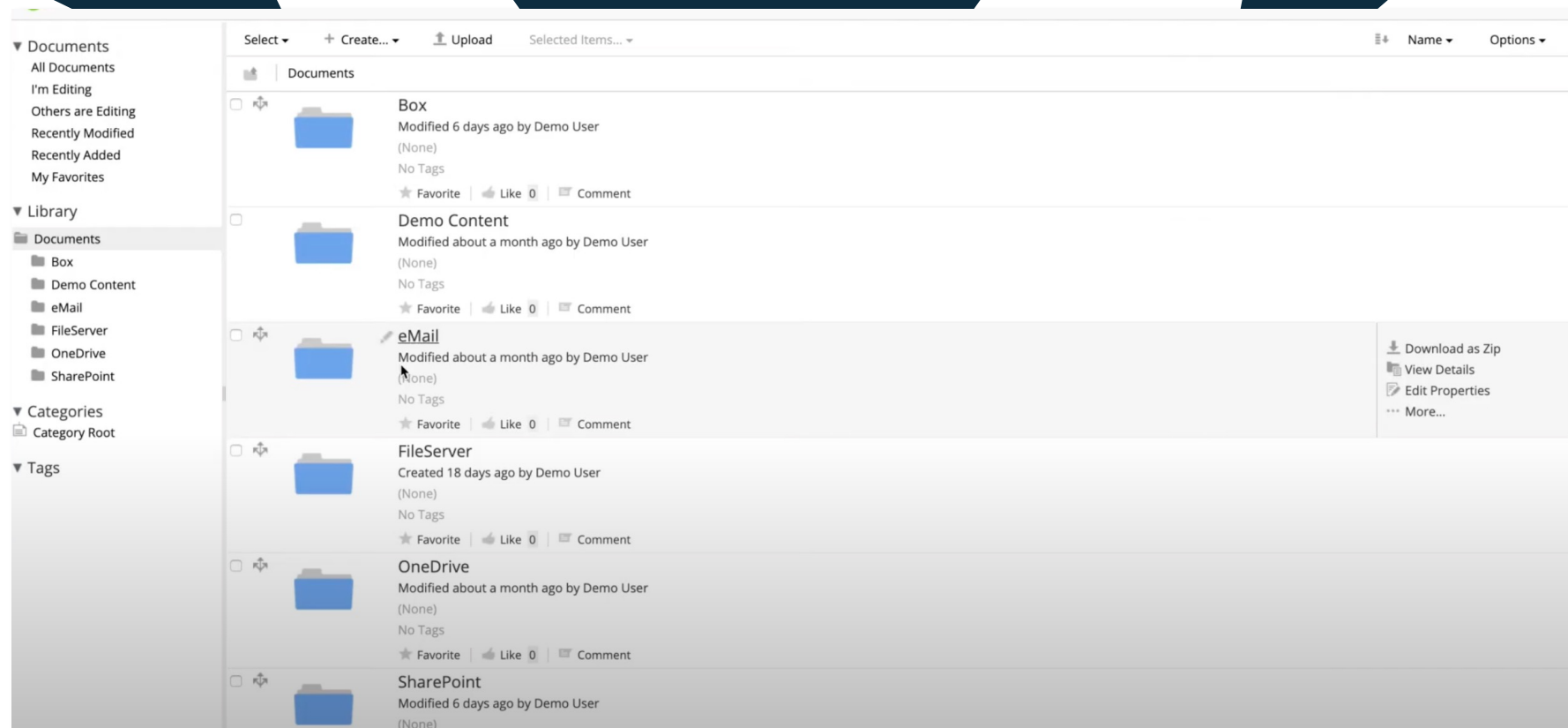
用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

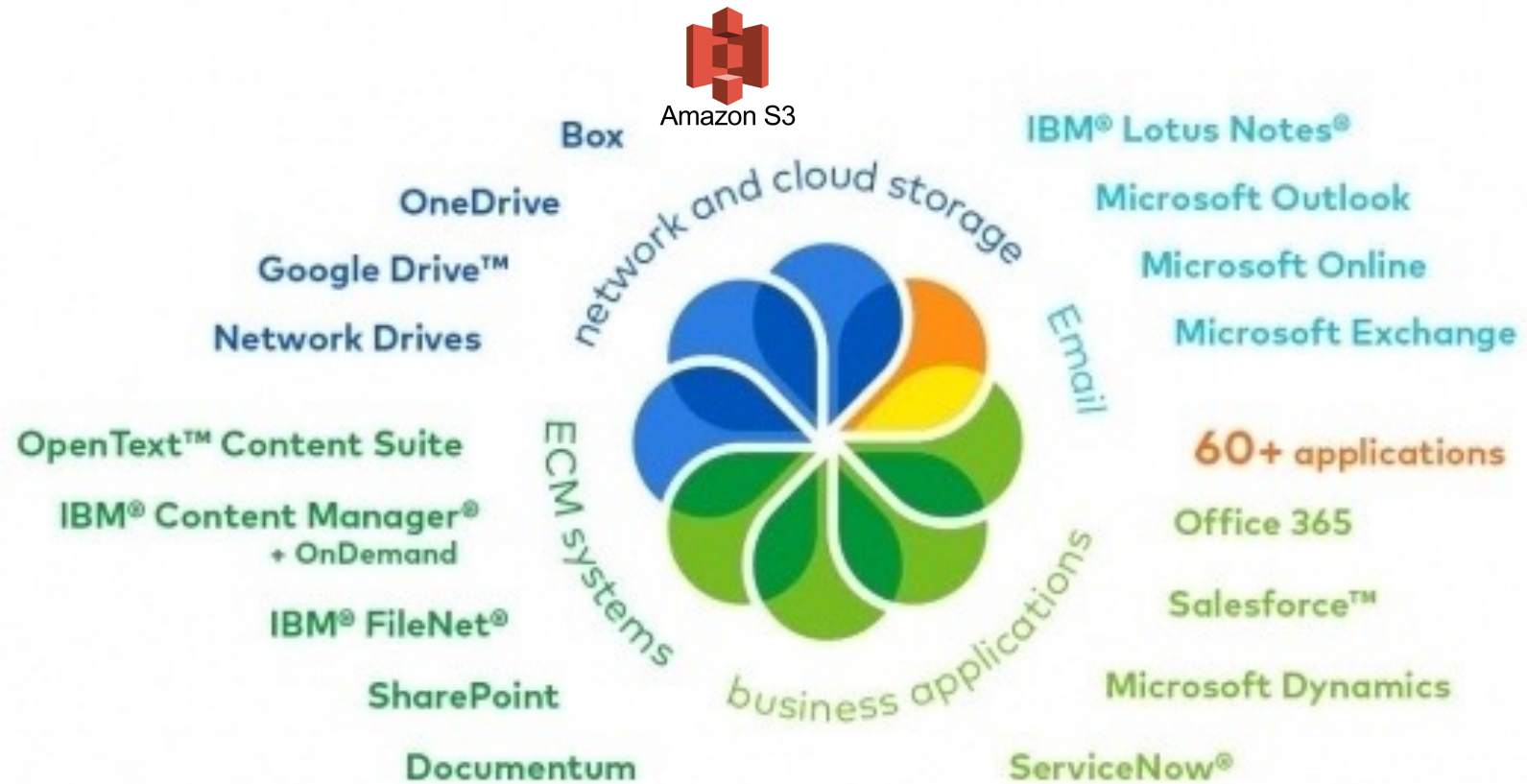
多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション



AlfrescoをフロントUIで利用し、バックグラウンドでは60種類を超える保存先（リポジトリ）が統合できる



すべての入り口は「Alfresco」で管理できる。

Alfrescoが求められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション

プロセスの自動化を支援するルール機能

Alfresco Content Serviceには、フォルダにルールを設定することができます。ルールを設定したフォルダに情報を保存するだけで、設定されたルールにもとづいて動作が行われます。

例として人工知能（AI）クラウドサービスと統合することで自動的にタグやメタデータを付与し、その結果から自動処理させることも可能です。

ルールの例

フォルダA: ルール

フォルダAからのルール

① 実行順を変えるには、ルールをドラッグして[保存]をクリックします。

1	✓	↕	Zipを解凍する
2	✓	↕	画像に自動タグ付け (imgRecognition)
3	✓	↕	動物の画像は動物フォルダへ移動
4	✓	↕	植物の画像は植物フォルダへ移動
5	✓	↕	食べ物の画像は食べ物フォルダへ移動

保存 リセット



Alfrescoが求められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション

AlfrescoのAPIを利用して、多彩なインテグレーション

Alfrescoが求められる理由

用途に合わせたUI

多様な視点で情報を発見する

多種多様な保存先に対応

自動化

インテグレーション

コネクタ名称	概要
Alfresco ODBC Driver	Alfresco にODBC インターフェースで双方向データ連携
Alfresco JDBC Driver	Alfresco にJDBC インターフェースで双方向データ連携
Alfresco ADO.NET Provider	Alfresco に.NET アプリからの双方向データ連携を実現
Alfresco Python Connector	Python からAlfresco データを自在に読み・書き・更新
Alfresco SSIS Components	SQL Server にリアルタイムAlfresco データをSSIS ワークフロー経由で連携できるパワフルなSSIS Component。
Alfresco BizTalk Adapter	Alfresco 向けエンタープライズBizTalk アダプター
Alfresco Connector for MuleSoft	標準SQL 準拠のMuleSoft Alfresco コネクタ
Excel Add-In for Alfresco	Excel からAlfresco データに接続
Alfresco Power BI Connector	Power BI からAlfresco のリアルタイムデータに簡単に連携し、ビジュアライズ、分析やレポートイングを実現。
Alfresco Tableau Connector	Tableau からAlfresco データにシームレスに連携してリアルタイムデータのビジュアライズと分析を実現。
Alfresco PowerShell Cmdlets	Alfresco データにリアルタイム連携可能なPowerShell Cmdlets。SQL Server などのDB と同感覚で使えるCmdlets でAlfresco のFiles、Folders、Users、Groups、Sites、Tags に簡単にアクセス。
Alfresco FireDAC Components	Alfresco のFiles、Folders、Users、Groups、Sites、Tags にデータ連携するJava アプリケーションを簡単に構築。
Alfresco Data Sync	Replicate Alfresco to on-premise or cloud databases with CData Sync

<https://www.cdata.com/jp/drivers/alfresco/#section-dv-anchor>

※リックソフト株式会社はCData Software社のパートナーです。

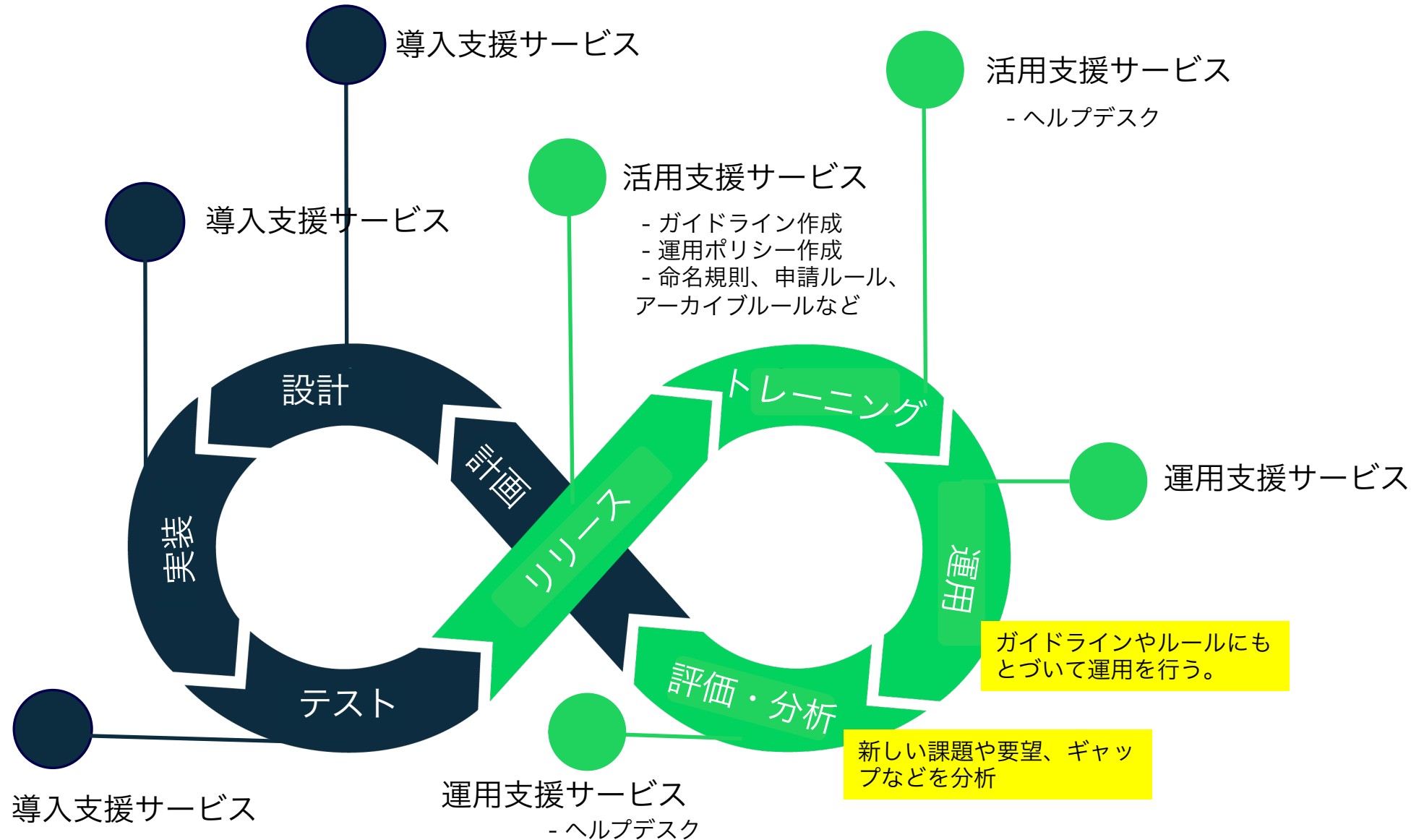
RS式コンテンツ管理における導入支援サービス

ツールの継続的な価値提供を実現するサービス

サービスの流れ

なぜサービス利用が必要か？

はじめの一歩



サービスの流れ

なぜサービス利用が必要か？

はじめの一步

機械的組織

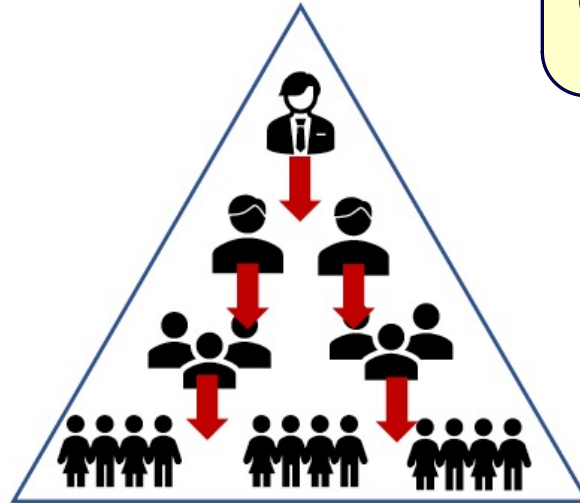


図.1：機械的組織イメージ

- 職務・権限の明確化
- ピラミッド型の権限構造（責任・権限）
- 上層部への情報の集約（情報の集中）
- 上層部からの指示・命令・伝達（垂直）
- 指示・命令に対する確実な実行

コラボレーション
ツールが求めている
のは有機的組織。

有機的組織

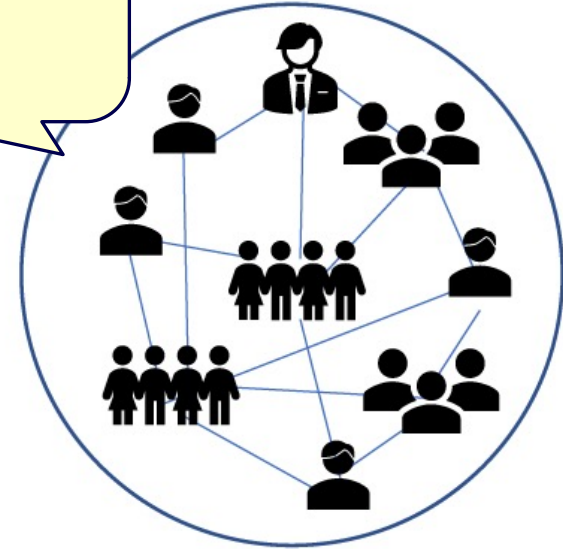


図.2：有機的組織イメージ

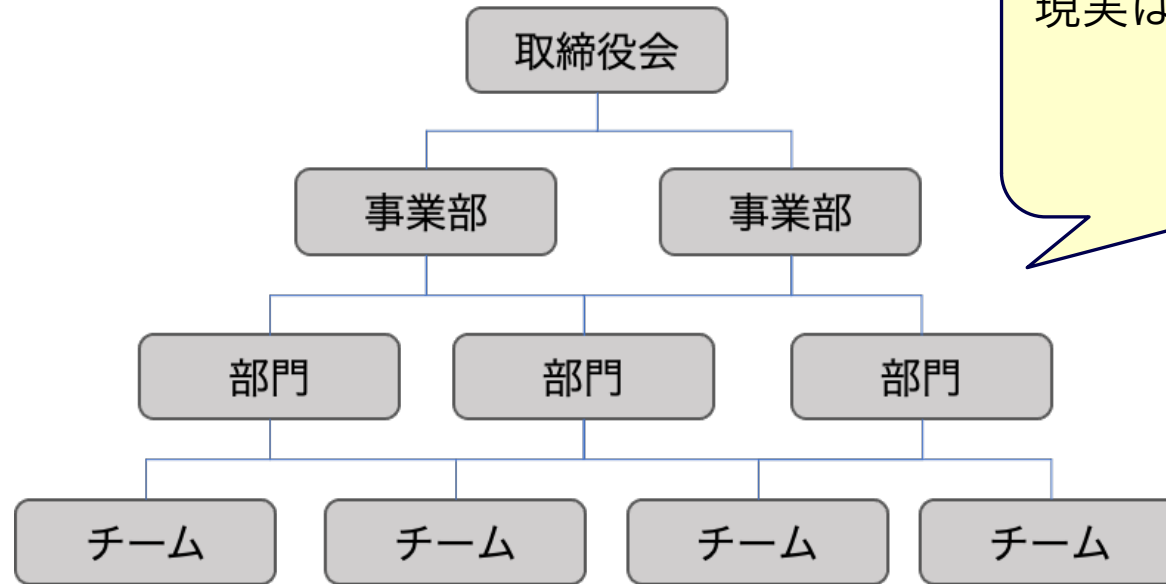
- 職務・権限の柔軟性
- ネットワーク型の伝達
- オープンな情報公開（情報の分散）
- 多くの人間からの助言・アドバイス（水平）
- 仕事への熱意・誇り

サービスの流れ

なぜサービス利用が
必要か？

はじめの一步

でも日本の組織って機械的な組織ですよね？



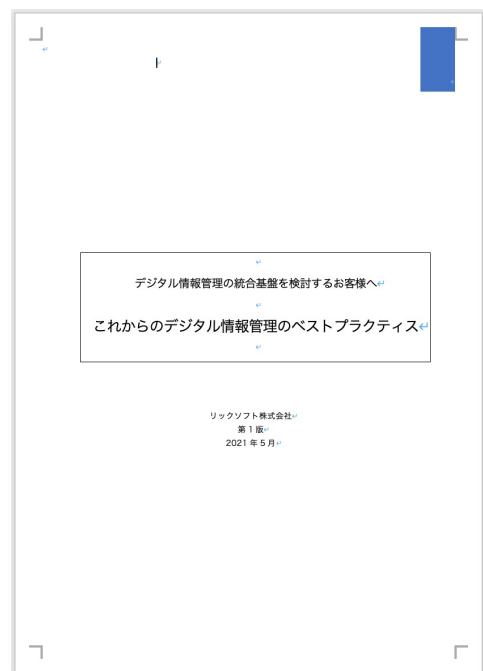
現実には機械的な組織

機械的組織をコラボレーションツールに適用されるには、使い方を定義する必要があります。

サービスの流れ

なぜサービス利用が必要か？

はじめの一步



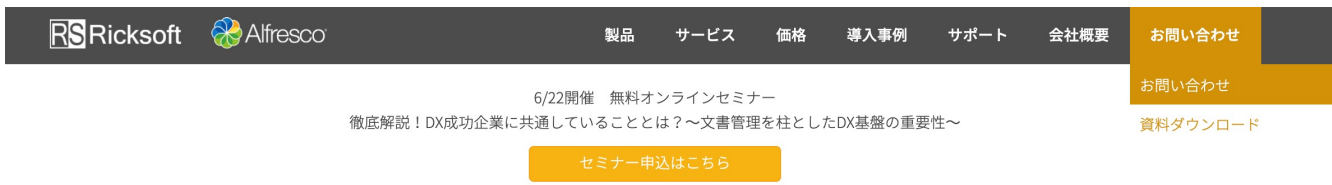
デジタル情報管理のベストプラクティス
作成：リックソフト株式会社

	個人	チーム	組織
①ICTツール名	①ICTツール名	①ICTツール名	①ICTツール名
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
②情報もしくは業務名	○ or △ or ×	○ or △ or ×	○ or △ or ×
③管理単位同士の連携	ICTツール名もしくは手法を記載		
③管理単位同士の連携	ICTツール名もしくは手法を記載		
④通知・お知らせ	ICTツール名もしくは手法を記載		

組織構造、情報もしくは業務、ICTツールの洗い出しを行います。
当社による導入プロセスにもとづいて導入を行います。

はじめの一步

まずはAlfrescoについてご相談をしてください。



サービスの流れ

なぜサービス利用が必要か？

はじめの一步



<https://alfresco.ricksoft.jp/>

お問い合わせ商品 *

- Alfresco Content Services
- Alfresco Process Services
- Alfresco Digital Business Platform

お問い合わせ項目

- 見積りがほしい
- 製品・ソリューションについて詳しい内容を聞きたい/デモを依頼したい
- 有償サポートについて聞きたい
- その他

お問い合わせ内容

よくあるご質問

Alfresco 製品について、ライセンスについてなどのよくあるご質問とその回答をご覧いただけます。

FAQ

ご清聴いただきまして誠にありがとうございました。

デジタルトランスフォーメーション（DX）や
ビジネスアジリティにご興味がありましたら
ぜひリックソフト株式会社へご相談ください。

ウェブサイト🏠 <https://www.ricksoft.jp/>
お問い合わせ窓口👉 <https://alfresco.ricksoft.jp/inquiry/>
その他お問い合わせ先✉️ mkt@ricksoft.jp